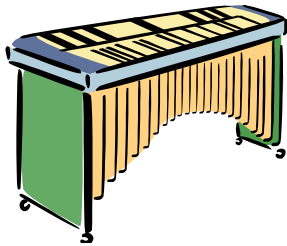


優しい音色に包まれた 極上のスウィングジャズを楽しむ

1930年代：クラリネット奏者ベニー・グッドマンオーケストラは、アメリカ中のファンから熱狂的に受け入れられ、その音楽は聴いていると自然に身体が揺れだす(スウィングする)ところから「スウィング・ミュージック」と呼ばれ当時はスウィングジャズだった。現在もスウィングジャズは多くのファンから愛されています。今回、未来に羽ばたく宅間善之(ビブラフォン)さんを中心とするバンドの優しい音色に包まれた極上のスウィングをお楽しみください。



【出演者】

宅間善之(ビブラフォン)

高校卒業後『Suiside Sports Car』のメンバーとしてプロデビュー。同バンド脱退後、スタジオミュージシャンとして氷川きよし、Rag Fair、クミコ、quasimode、手塚治虫アニメで冨田勲氏のレコーディングや、実父である宅間久義のレコーディングとコンサートツアーにも参加し、楽曲提供も行っている。ジャンルを問わずに精力的に活動している数少ない若手マレット&パーカッション奏者である。

佐山こうた(ピアノ)

大学卒業後プロとして活動を開始する。2005年には「ギブソン ジャズギターコンテスト」で優勝。スウィングジャズからフリージャズまで、またジャズのみならずポップスや民謡、フォルクローレなど様々なジャンルのアーティスト達と共演・交流し文化性や芸術性を含んだトータルとしての音楽性を追求している。

中林薫平(ベース)

高校入学後ウッドベースを始める。Student Jazz Festivalにおいて、2年連続1位となる。2003年守口・門真ジャズコンテストでは、グランプリ、ベストプレイヤー賞を受賞。卒業後、日野皓正、吉田次郎、嶋本高之らと共演し、2005年に上京。佐山雅弘トリオ、鈴木勲「OMA SOUND」等でプレイする。

牧山純子(ヴァイオリン)

大学在学中にデイビット・フォスターやスティーブン・タイラー(エアロスミス)、ゲーリー・バートン、上原ひろみ、マイケル・ブレッカーらとも共演する。NHK 紅白歌合戦ではアメリカから衛星中継で出演した。小椋佳コンサートツアーや小曽根真&山形交響楽団シンフォニックジャズ・コンサートに参加。現在自身のライブを行うほかTV、レコーディング、コンサート等、ジャンルを問わず精力的な活動を行っている。

～演奏予定曲～

- ・スタンダードジャズより
酒とバラの日々、鈴掛の路、Misty 他
- ・ボサノバより
黒いオルフェ、Desafinado 他
- ・ディズニーより
いつか王子様が 他

- * 主催 横須賀三浦教育会館・三浦半島地区教育文化研究所・教育会館ふれあいコンサート実行委員会
- * 後援 横須賀市教育委員会・横須賀市PTA協議会・横須賀市私立幼稚園協会

◆入場料
大人(前売)1,500円(当日)1,600円 高校生以下700円
(定員150名 全席自由)

◆問い合わせ
横須賀三浦教育会館 TEL 046-824-0683

◆下記でもチケットを販売しております
レディースファッション「マジック」
(上町文化会館バス停前) TEL 046-824-8538